ＳＤＧｓ
未来づくり部門

熊本県立天草高等学校　科学部

天草から世界を変える、天草ブルーカーボンニュートラル

【取組み内容】

①アマモの定植によるアマモ場再生

・環境シンポジウムを開催し、地域住民を巻き込んで活動する。

②アマモ専用肥料の開発

③アマモを活用したバイオ燃料の開発

・②と③により、天草に新たな産業の創出を目指す。

※①～③より天草ブルーカーボンニュートラルの達成を目指す。

評価項目ごとの取組みの特徴・ポイント	
普遍性	アマモは各地に自生しており、本活動は他地域のロールモデルとなる。 開発したアマモ肥料を用いて、発芽率の向上を図る研究に繋げる。
包摂性	アマモ場再生により漁業に貢献し、肥料や燃料を開発して産業を創出。 アマモ定植を軸とした環境教育を実施し、地元小中学生にも活動を紹介。
協働性	天草市と共催で環境シンポジウムを実施した（2021/10、2022/8）。 KiriCANユース（キリバスのNPO団体）と連携し温暖化対策を実施。
統合性	アマモ肥料及び燃料の開発により温暖化対策への寄与だけでなく、新たな産業を創出することで地域経済活性化と地域の過疎化への対策となる。
透明性	顧問の先生や大学の先生、市役所の方に助言を受けて深化している。 取組は天草高校HPにて、発信していただいている。

貢献するＳＤＧｓのゴール